

中小企業景況情報

平成23年 1 月～ 3 月期実績
平成23年 4 月～ 6 月期予想

富山県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 状 況

平成 23 年 1 月～ 3 月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

〔 調 査 基 準 〕

1. 調 査 方 法 商工会の経営指導員による訪問調査
2. 調 査 時 点 平成 23 年 3 月 1 日
3. 調査対象期間 平成 23 年 1 ～ 3 月期実績および平成 23 年 4 ～ 6 月期予想
4. 回答企業内訳および回答率

業 種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地 区 名
製 造 業	32	32	100.0	朝 日 町・入 善 町 宇奈月町・上 市 町 富山市南・富山市北 高 岡 市・小矢部市 南 砺 市・庄 川 町
建 設 業	26	26	100.0	
小 売 業	37	37	100.0	
サービス業	55	54	98.2	
合 計	150	149	99.3	

(注) 1. 本調査でのD・Iとはディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合と減少（低下、悪化）企業割合の差を示すものである。

産 業 全 体

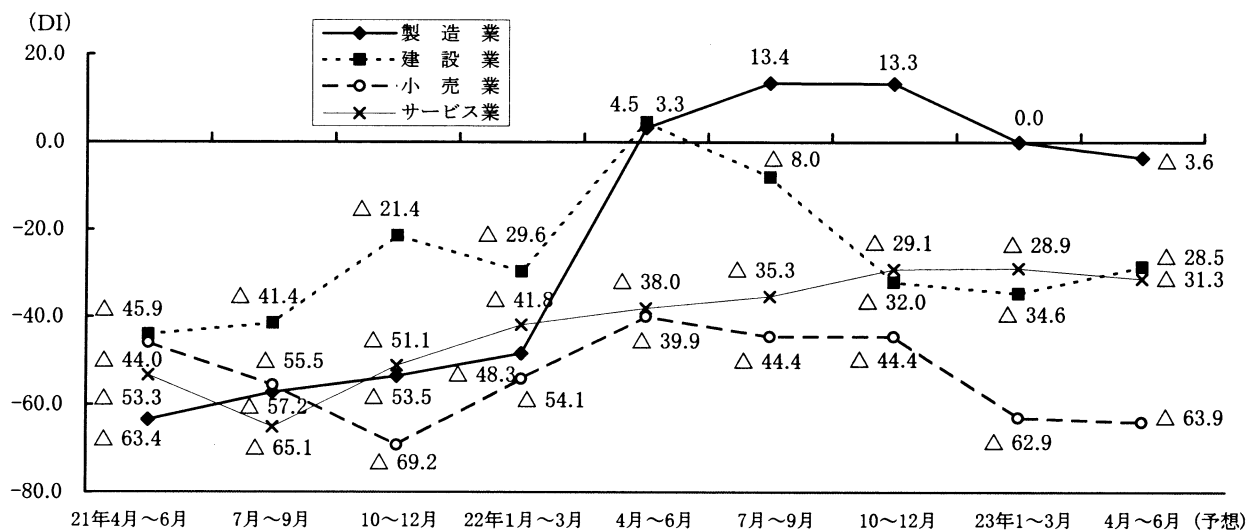
- ・ 業況判断（DI）は、前回調査比（11 月）7.2 ポイント減少し△31.7 となった。
- ・ 来期は 2.1 ポイント減少の△33.8 を予想している。
- ・ 売上額は前回調査比1.1ポイント減少し△34.2となった。また、来期は△33.6と横這いを予想している。
- ・ 採算は前回調査比 0.5 ポイント上昇し△29.2 となった。また、来期は△33.8 と悪化を予想している。
- ・ 資金繰りは前回調査比 2.2 ポイント減少し△19.0 となった。また、来期は△23.1 と悪化を予想している。

1. 業況判断D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、サービス業は横這い、製造業・建設業・小売業で悪化した〕

今期は、サービス業△28.9（対前期比+0.2ポイント）は前期から横這いであったが、製造業△0.0（同-13.3ポイント）、建設業△34.6（同-2.6ポイント）、小売業△62.9（同-18.5ポイント）と悪化した。

来期は、建設業△28.5（対当期比+6.1ポイント）と好転を、製造業△3.6（同-3.6ポイント）、小売業△63.9（同-1.0ポイント）、サービス業△31.3（同-2.4ポイント）で悪化を予想している。

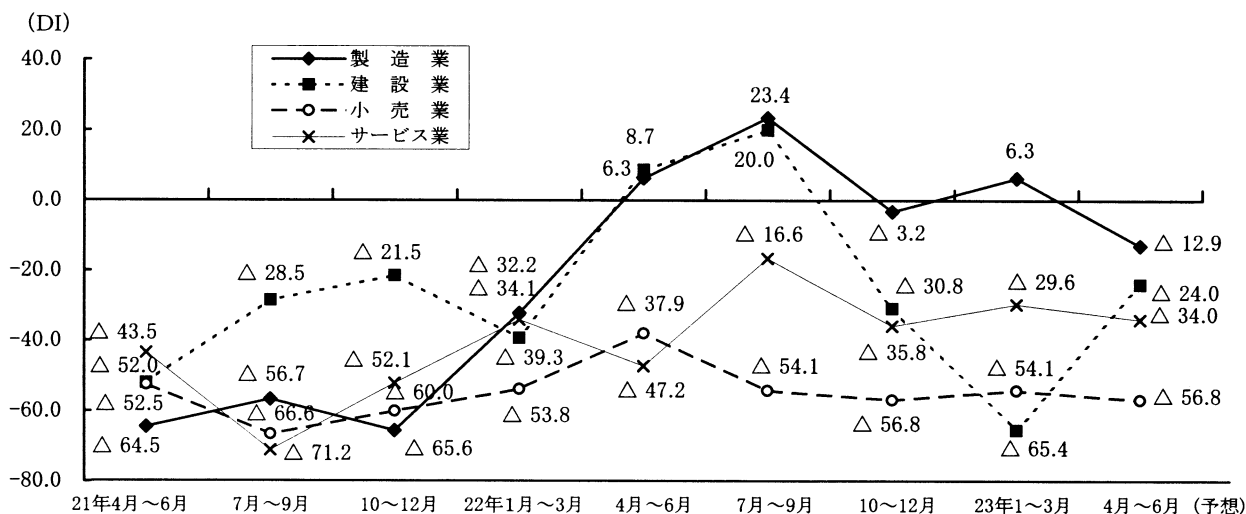


2. 売上額D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、製造業・サービス業・小売業好転、建設業で悪化した〕

今期は、製造業 6.3（対前期比+9.5ポイント）、小売業△54.1（同+2.7ポイント）、サービス業△29.6（同+6.2ポイント）と前期より好転したが、建設業は△65.4（同-34.6ポイント）と大きく悪化した。

来期は、建設業で△24.0（対当期比+41.4ポイント）と前期並みへの好転が予想される一方、製造業△12.9（同-19.2ポイント）、小売業△56.8（同-2.7ポイント）、サービス業△34.0（同-4.4ポイント）と悪化を予想している。

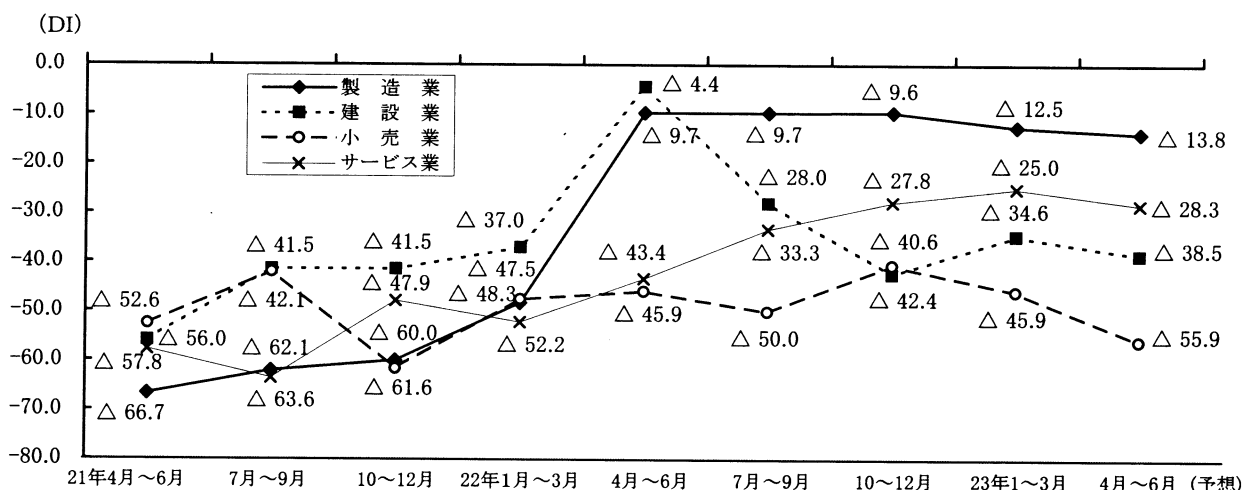


3. 採算D・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、建設業・サービス業で好転、製造業・小売業で悪化した〕

今期は、建設業△34.6（対前期比+7.8ポイント）、サービス業△25.0（同+2.8ポイント）と前期より好転したが、製造業△12.5（同-2.9ポイント）、小売業△45.9（同-5.3ポイント）と悪化した。

来期は、製造業△13.8（対当期比-1.3ポイント）、建設業△38.5（同-3.9ポイント）、小売業△55.9（同-10.0ポイント）、サービス業△28.3（同-3.3ポイント）と全ての業種で悪化を予想している。

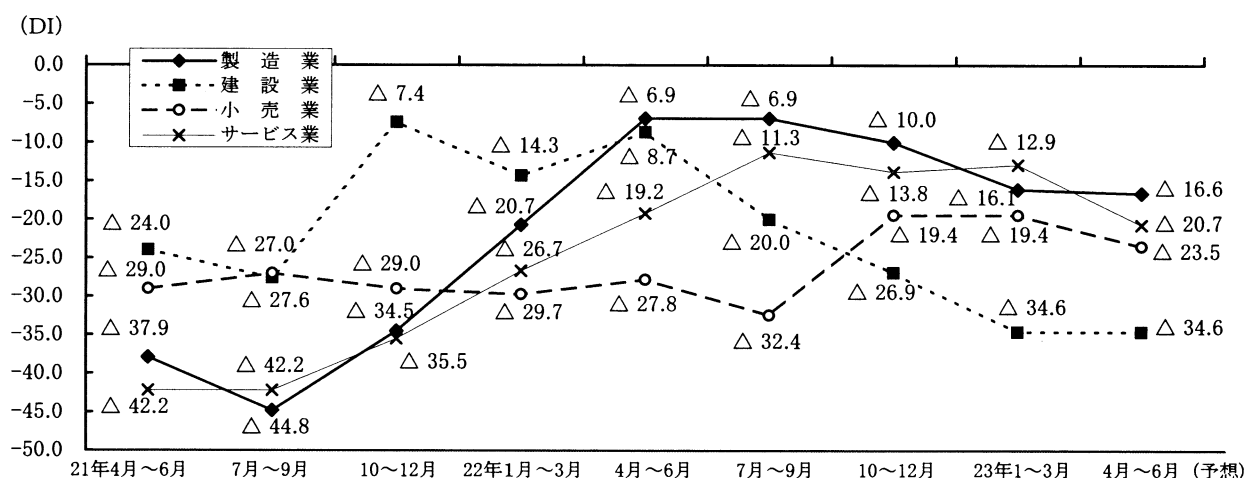


4. 資金繰りD・Iの推移（前年同期比）

〔前期比、小売業・サービス業は横這い、製造業・建設業は悪化した〕

今期は、小売業△19.4（対前期比±0ポイント）、サービス業△12.9（同+0.9ポイント）と前期から横這いであったが、製造業△16.1（同-6.1ポイント）、建設業△34.6（同-7.7ポイント）と悪化した。

来期は、製造業△16.6（対当期比-0.5ポイント）、建設業△34.6（同±0ポイント）と横這い、小売業△23.5（同-4.1ポイント）、サービス業△20.7（同-7.8ポイント）と悪化を予想している。



D I 値による全国動向との対比

全 国	—●—	売 上	●.....	採 算	---●---	資金繰り
富山県	—○—	売 上	○.....	採 算	---○---	資金繰り

製 造 業 (前年同期比D・I 値)

項 目	地域	22年	23年		22年7～9月 10～12月 23年1～3月 4～6月(予想)
		10～12月	1～3月	4～6月	
売 上	全 国	△ 16.8	△ 14.0	△ 18.1	
	富山県	△ 3.2	6.3	△ 12.9	
採 算	全 国	△ 26.7	△ 25.8	△ 24.9	
	富山県	△ 9.6	△ 12.5	△ 13.8	
資金繰り	全 国	△ 20.8	△ 21.0	△ 21.3	
	富山県	△ 10.0	△ 16.1	△ 16.6	

全国は、売上・採算で好転、資金繰りは横這いであった。
 来期は、採算は好転、資金繰りは横這い、売上で悪化を予想している。
 本県は、売上は好転、採算と資金繰りは悪化した。
 来期は、資金繰りは横這い、売上・採算で悪化を予想している。
 全国との比較では、今期本県は売上・採算・資金繰りの全てで上回った。

建 設 業 (前年同期比D・I 値)

項 目	地域	22年	23年		22年7～9月 10～12月 23年1～3月 4～6月(予想)
		10～12月	1～3月	4～6月	
売 上	全 国	△ 29.4	△ 25.2	△ 36.9	
	富山県	△ 30.8	△ 65.4	△ 24.0	
採 算	全 国	△ 38.7	△ 36.6	△ 38.3	
	富山県	△ 42.4	△ 34.6	△ 38.5	
資金繰り	全 国	△ 27.7	△ 26.1	△ 28.7	
	富山県	△ 26.9	△ 34.6	△ 28.5	

全国は、売上・採算・資金繰り全てで好転した。
 来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。
 本県は、採算は好転、売上・資金繰りは悪化した。
 来期は、売上・資金繰りで好転を、採算では悪化を予想している。
 全国との比較では、今期本県は採算で上回り、売上・資金繰りで下回った。

全 国	—●—	売 上	●.....	採 算	---○---	資 金 繰 り
富 山 県	—○—	売 上	○.....	採 算	---○---	資 金 繰 り

小 売 業 (前年同期比D・I 値)

項 目	地域	22年	23年		22年7～9月 10～12月 23年1～3月 4～6月(予想)
		10～12月	1～3月	4～6月	
売 上	全 国	△ 49.4	△ 46.3	△ 44.4	
	富 山 県	△ 56.8	△ 54.1	△ 56.8	
採 算	全 国	△ 45.8	△ 47.5	△ 44.1	
	富 山 県	△ 40.6	△ 45.9	△ 55.9	
資 金 繰 り	全 国	△ 32.2	△ 33.6	△ 33.9	
	富 山 県	△ 19.4	△ 19.4	△ 23.5	

全国は、売上で好転、採算・資金繰りは悪化した。

来期は、売上・採算で好転、資金繰りで横這いを予想している。

本県は、売上で好転、資金繰りは横這い、採算は悪化した。

来期は、売上・採算・資金繰り全てで悪化を予想している。

全国との比較では、今期本県は、資金繰りで上回り、売上・採算で下回った。

サ ー ビ ス 業 (前年同期比D・I 値)

項 目	地域	22年	23年		22年7～9月 10～12月 23年1～3月 4～6月(予想)
		10～12月	1～3月	4～6月	
売 上	全 国	△ 37.7	△ 41.4	△ 36.4	
	富 山 県	△ 35.8	△ 29.6	△ 34.0	
採 算	全 国	△ 39.4	△ 42.3	△ 37.2	
	富 山 県	△ 27.8	△ 25.0	△ 28.3	
資 金 繰 り	全 国	△ 28.8	△ 30.4	△ 28.7	
	富 山 県	△ 13.8	△ 12.9	△ 20.7	

全国は、売上・採算・資金繰り全てで悪化した。

来期は、売上・採算・資金繰りの全てで好転を予想している。

本県は、売上・採算・資金繰り全てで好転した。

来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。

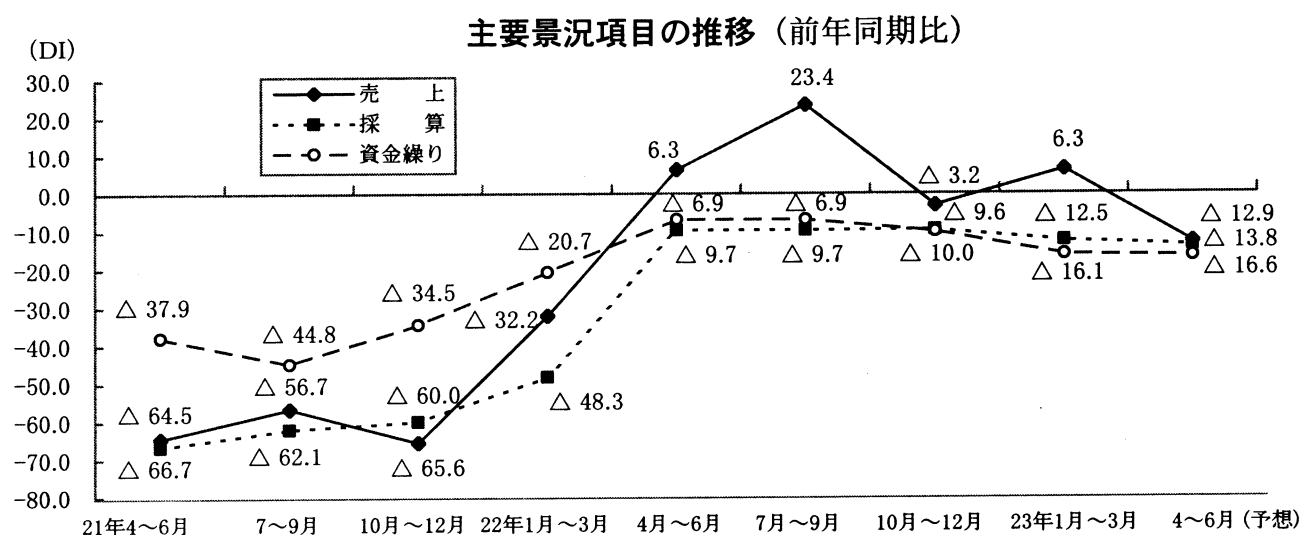
全国との比較では、今期本県は、売上・採算・資金繰り全てで上回った。

製 造 業

1. 主要景況項目の動向

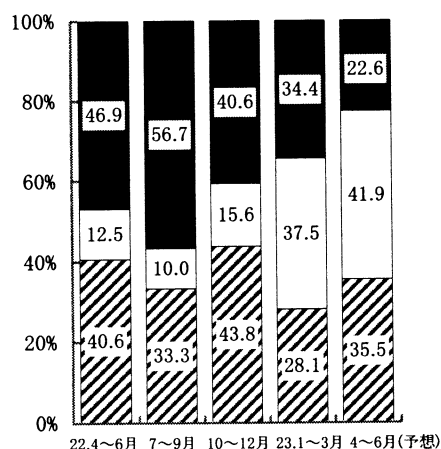
業況D・Iは前回調査比で13.3ポイント減少し±0、売上は9.5ポイント上昇、採算は2.9ポイント、資金繰りは6.1ポイントそれぞれ減少した。

来期は、資金繰りは横這い、売上・採算は悪化を予想している。

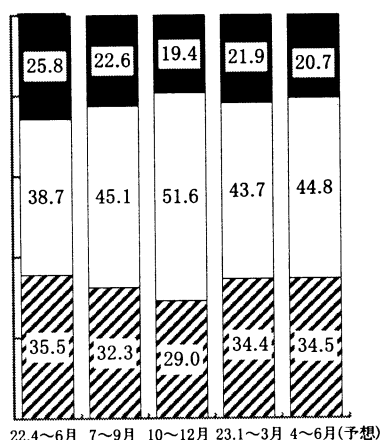


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化

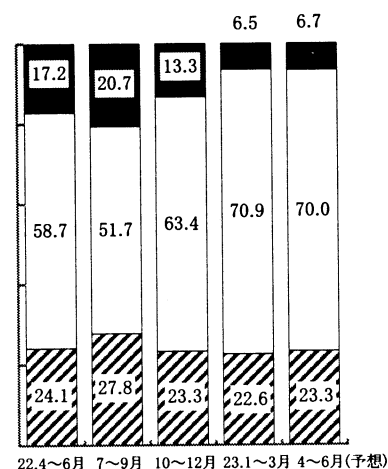
売上額の状況



採算の状況



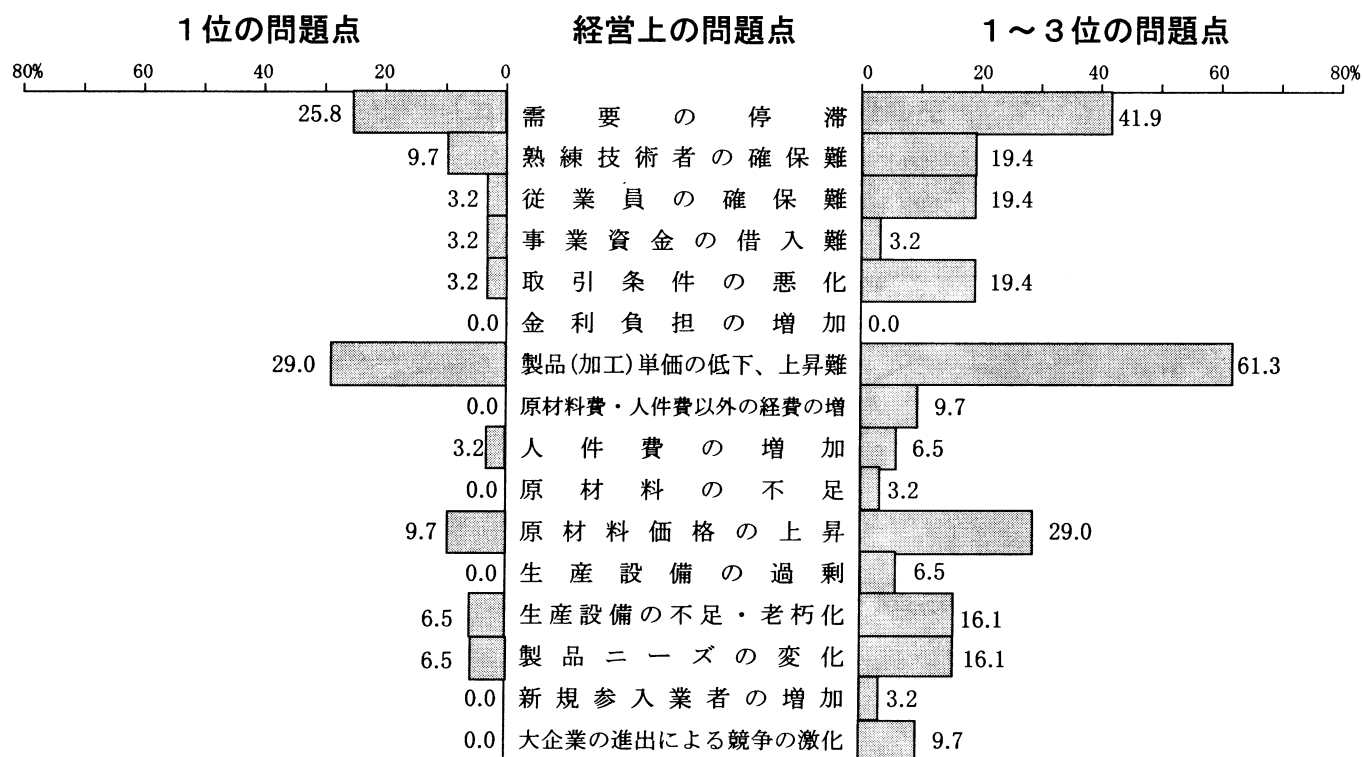
資金繰りの状況



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「製品(加工)単価の低下・上昇難」(29.0%)、②「需要の停滞」(25.8%)、③「熟練技術者の確保難」「原材料価格の上昇」(9.7%)であった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「製品(加工)単価の低下・上昇難」(61.3%)、②「需要の停滞」(41.9%)、③「原材料価格の上昇」(29.0%)の順となった。

「需要の停滞」「製品(加工)単価の低下・上昇難」が上位に定着してきている。

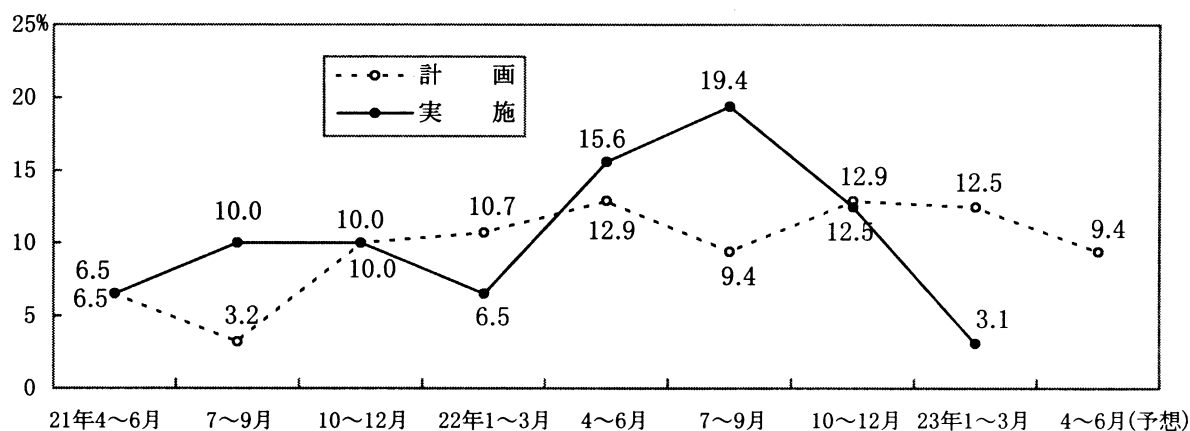


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比9.4ポイント減少し3.1%となった。投資内容は生産設備となっている。

来期計画は、3.1ポイント減少し9.4%となっている。投資内容は工場建物、生産設備などとなっている。

設備投資計画及び実施状況

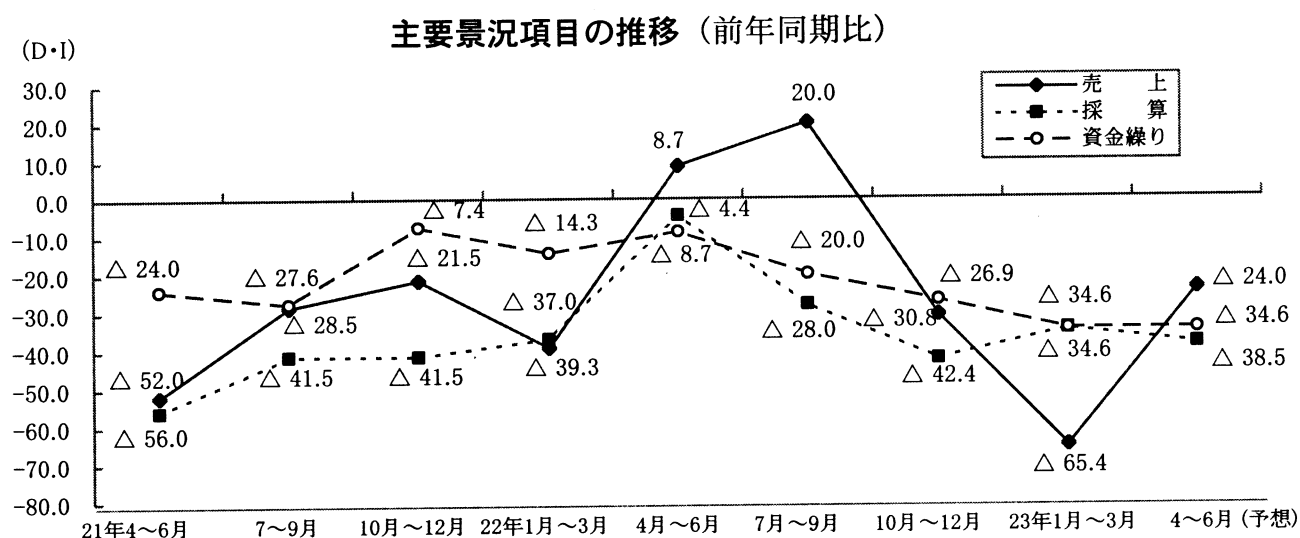


建設業

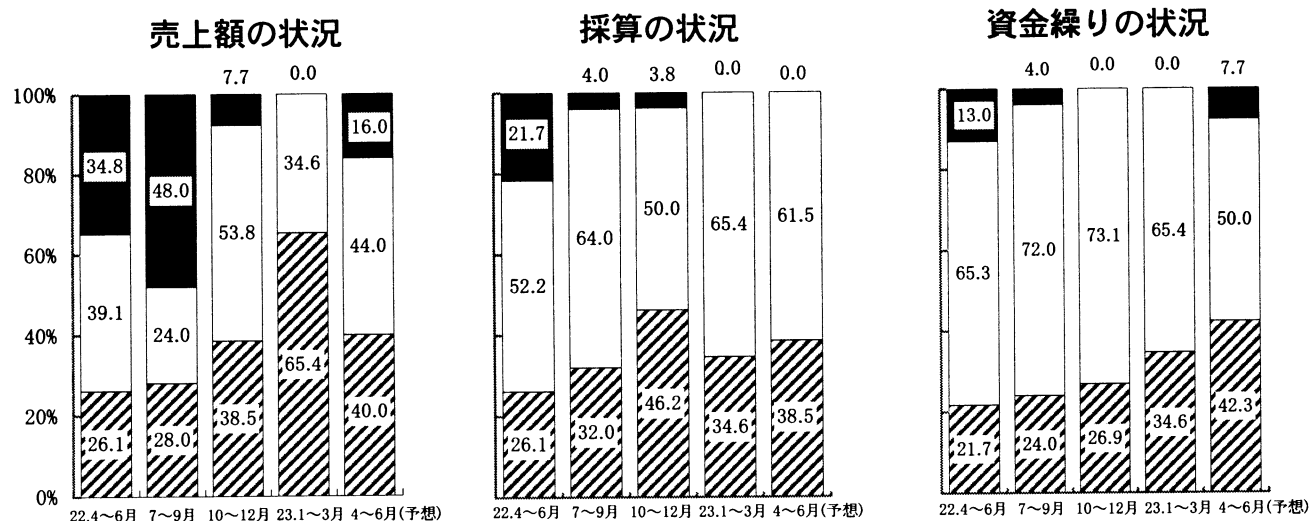
1. 主要景況項目の動向

業況D・Iは前回調査比2.6ポイント減少し△34.6、採算は7.8ポイントの上昇、売上は34.6ポイント、資金繰りは7.7ポイントそれぞれ減少した。

来期は、売上は好転、資金繰りは横這い、採算は悪化を予想している。

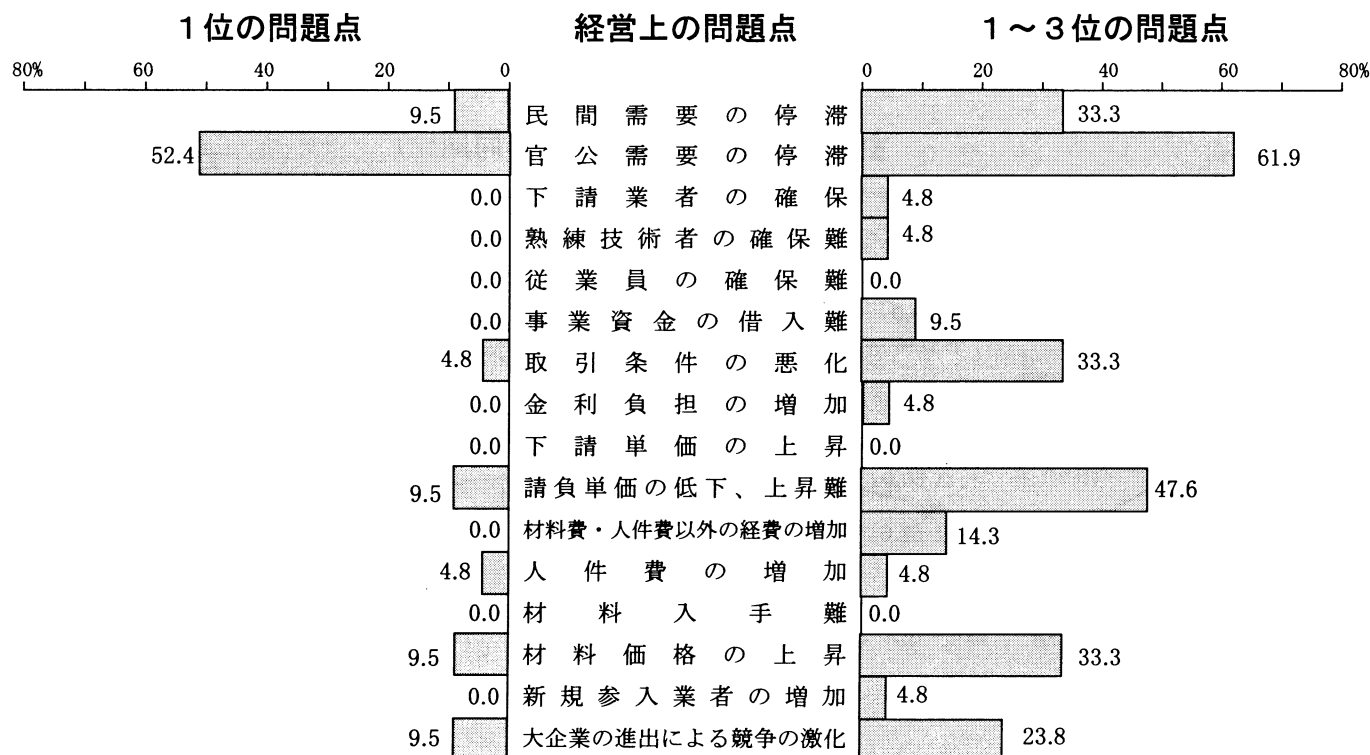


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「官公需要の停滞」(52.4%) がトップで、②「民間需要の停滞」「請負単価の低下、上昇難」「材料価格の上昇」「大企業の進出による競争の激化」(9.5%)が続いている。これを1位～3位までの合計で見ると、①「官公需要の停滞」(61.9%)、②「請負単価の低下、上昇難」(47.6%)、③「民間需要の停滞」「取引条件の悪化」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」「請負単価の低下、上昇難」が上位に定着してきている。

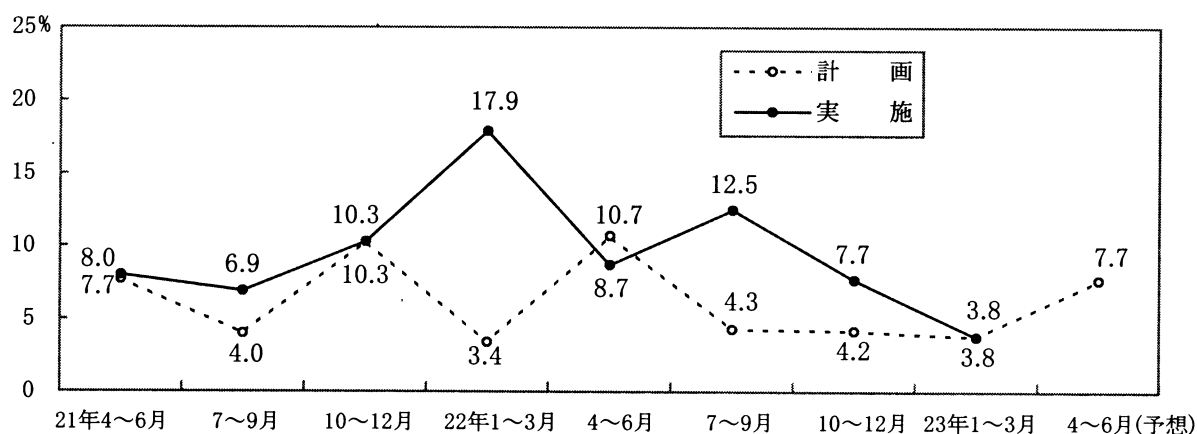


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 3.9 ポイント減少し 3.8%となった。投資内容は車両・運搬具となっている。

来期計画は、3.9 ポイント上昇し 7.7%となっている。投資内容は建設機械となっている。

設備投資計画及び実施状況

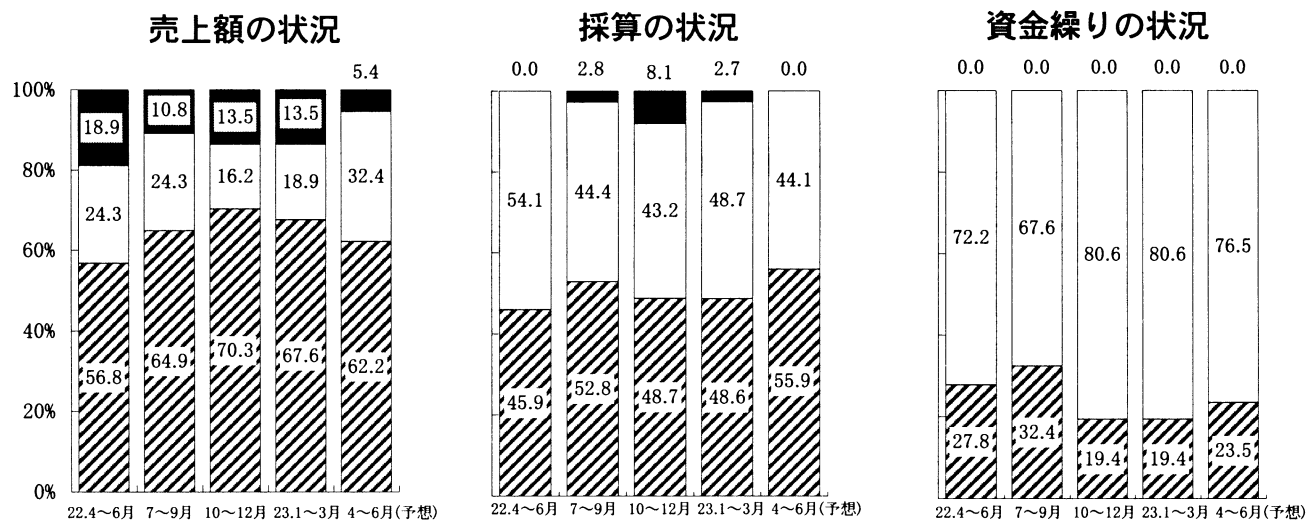
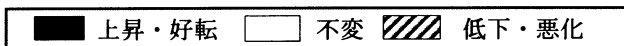
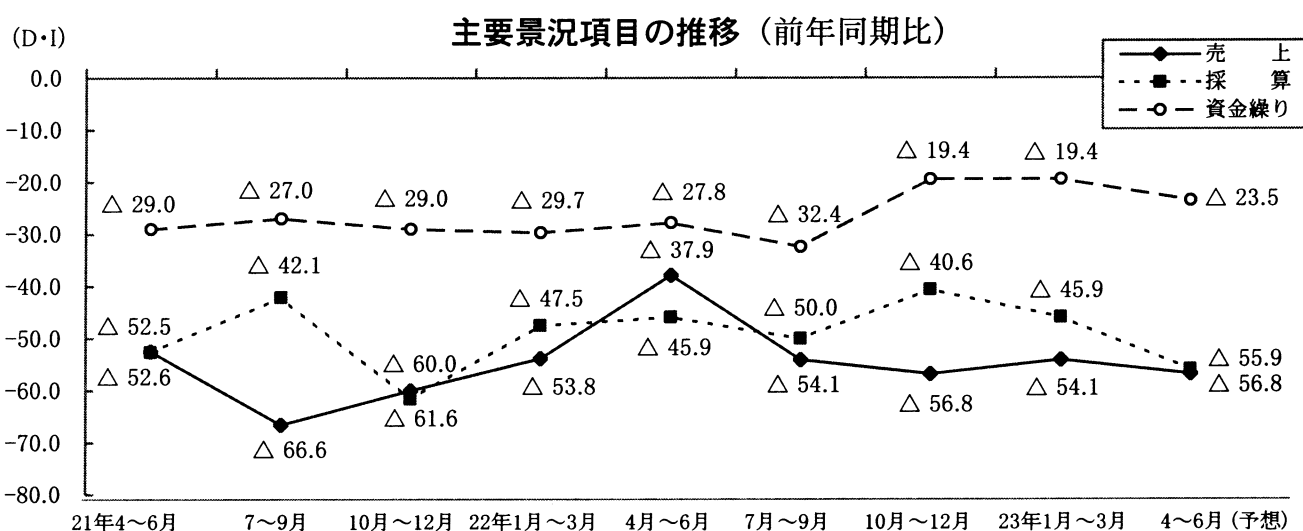


小 売 業

1. 主要景況項目の動向

業況D・Iは前回調査比で18.5ポイント減少し△62.9、売上は2.7ポイントの上昇、資金繰りは横這い、採算は5.3ポイント減少した。

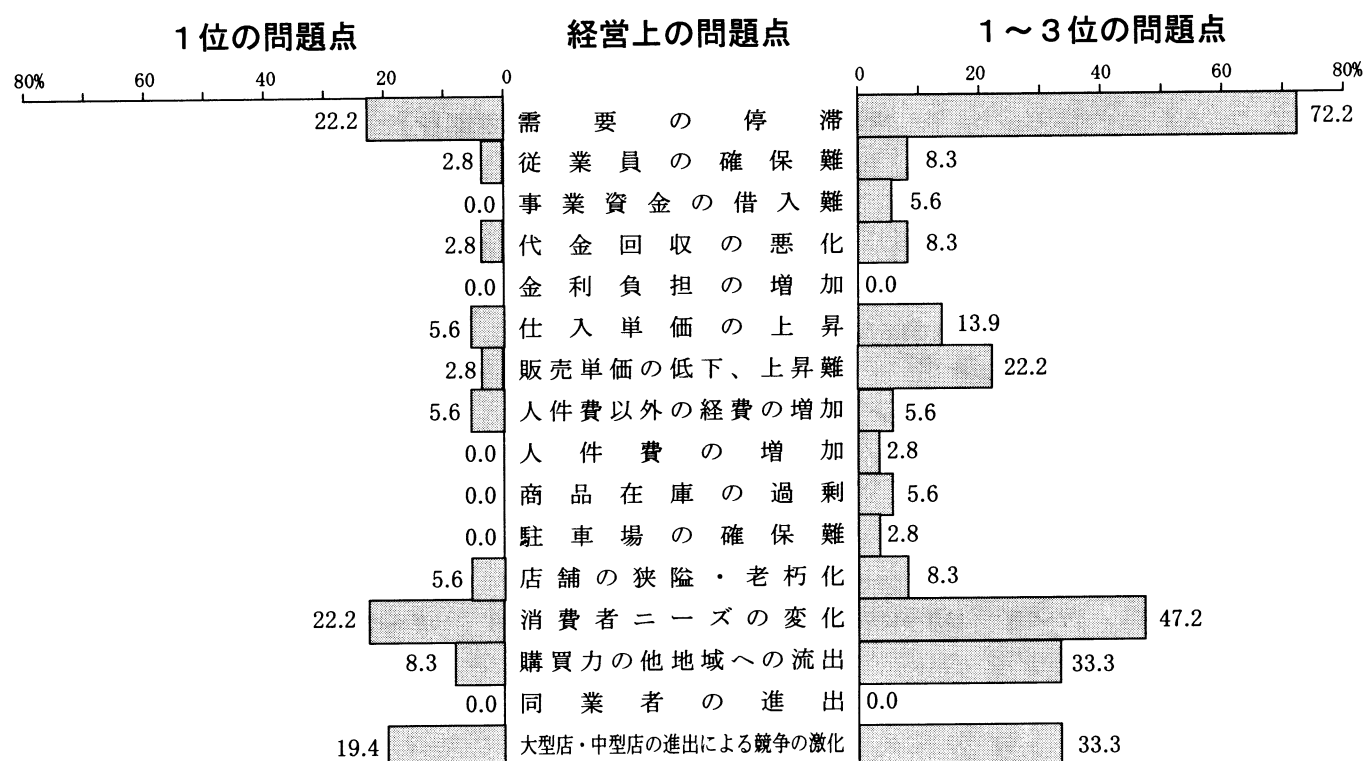
来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」(22.2%)、③「大型店・中型店の進出による競争の激化」(19.4%)となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(72.2%) ②「消費者ニーズの変化」(47.2%)、③「購買力の他地域への流出」「大型店・中型店の進出による競争の激化」(33.3%)の順となった。

「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が上位に定着してきている。

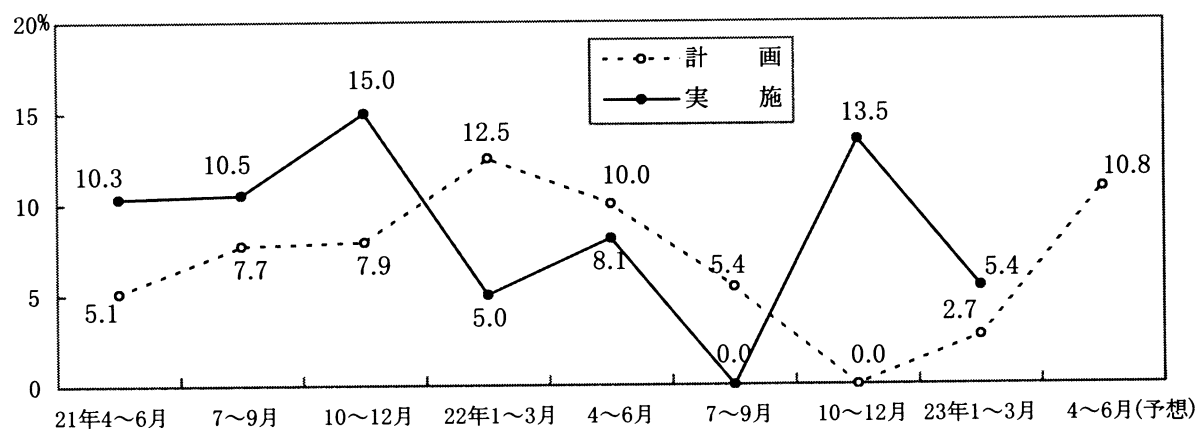


3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比 8.1 ポイント減少し 5.4%となった。投資内容は、車両・運搬具、OA機器となっている。

来期計画は、8.1 ポイント上昇し 10.8%となっている。投資内容は店舗、販売設備などとなっている。

設備投資計画及び実施状況

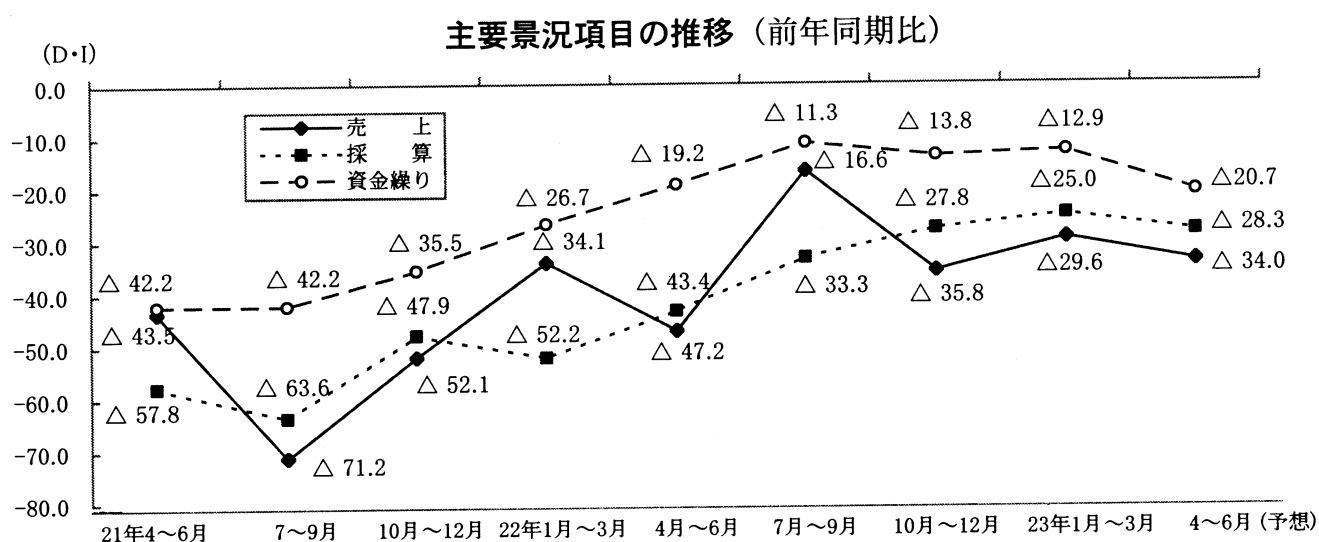


サービス業

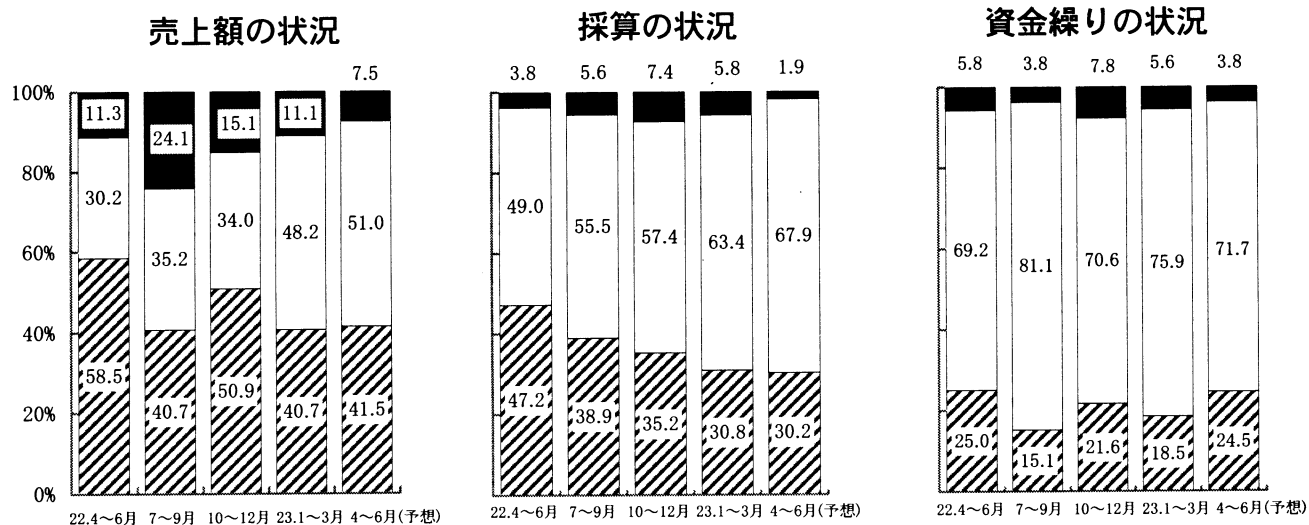
1. 主要景況項目の動向

業況D・Iは前回調査からほぼ横這いの△28.9、売上は6.2ポイント、採算は2.8ポイント、資金繰りは0.9ポイントそれぞれ好転した。

来期は、売上・採算・資金繰りの全てで悪化を予想している。

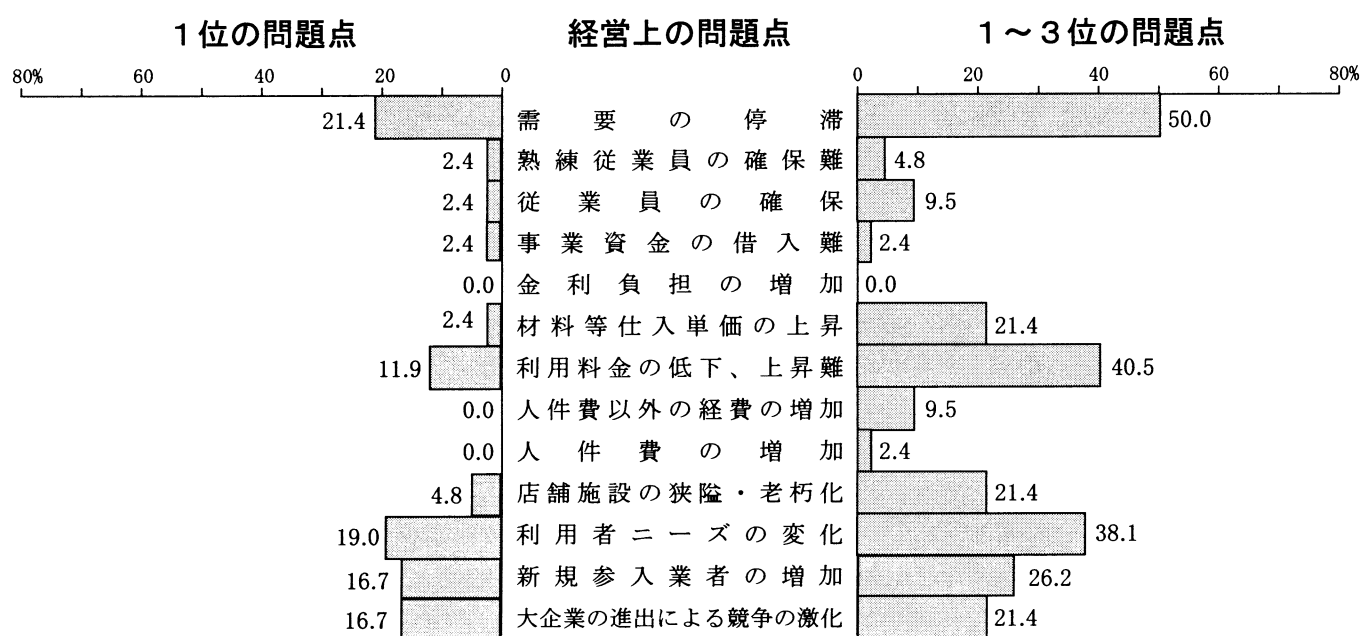


■ 上昇・好転 □ 不変 ▨ 低下・悪化



2. 経営上の問題点

問題点の上位は、①「需要の停滞」(21.4%) ②「利用者ニーズの変化」(19.0%) ③「新規参入業者の増加」「大企業の進出による競争の激化」(16.7%) となった。これを1位～3位までの合計で見ると、①「需要の停滞」(50.0%) ②「利用料金の低下、上昇難」(40.5%) ③「利用者ニーズの変化」(38.1%) の順となった。「需要の停滞」「利用者ニーズの変化」が上位に定着してきている。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期と同様 9.3%であった。投資内容は、車両・運搬具、土地、建物となっている。

来期計画は、5.6ポイント上昇し9.3%となっている。投資内容は、サービス設備、付帯施設、OA機器などとなっている。

設備投資計画及び実施状況

